2）DX改革については、厳しい意見が多く出され、相当数の代議員の方や担当の長島常任理事も個人的には今後も紙カルテを継続使用すると答弁して、会場から喝采が起こりました。現状では、医療機関や医師のDX対応への危機感は強く、仮に国が強硬に実施を進めるなら地域医療は崩壊すると危惧している方が多いと感じました。
3）高齢者（特に介護施設や訪問看護などを受けている方々等）の急性期医療、急性搬送、DNRについて関連質問なども多くありましたが、地域差が大きく地域医療構想などの中で検討していくことが重要と考えられました。
4）オンライン診療や看護学校のオンライン授業についての質問があり、人口減少社会と経営の効率化そして医療安全の観点から国もいろいろと認めてきていることが福田副会長から答弁がありました。他方、特に精神診療における依存性のある向精神薬処方や、自殺企図を有する患者さんに対するオンラインによる初期対応については重要な問題だと思いました。その他多数の重要な質問がありましたが、紙面の都合上、割愛させていただきます。

北海道ブロック12名の席が緩やかな階段席の一番後ろとなり、帯広市の稲葉先生は名誉ある380番の最後尾の席で、379番の小生と医学生時代の階段教室での、途中退席したことを想い出しながら最後まで聞くことができました。

「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について

◇救急医療部◇

当会ホームページでは急病・急な症状時の対応を紹介する「応急手当WEB」、救急医療機関の適切な利用について理解を深めてもらう「救急医療啓発パンフレット」を登載しております。
これらの情報をより一層周知することにご協力いただけます医療機関におかれましては、自院ホームページに下記掲載URLへのリンクをお願いいたします。
なお、リンク掲載後のご連絡は不要ですが、今後の連携強化のため、リンクのご一報をいただければ幸いです。

●応急手当WEB
http://www.hokkaido.med.or.jp/firstaid/

●救急医療啓発パンフレット
http://www.hokkaido.med.or.jp/hokkaido/ambulance.html

連絡先：北海道医師会事業第三課
TEL　011-231-1726　　FAX　011-210-4514　　E-mail　3ka@m.doui.jp